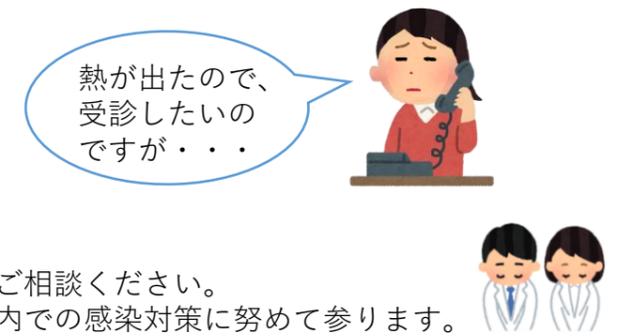




① マスクの着用、手指の消毒、検温を  
引き続きお願いいたします。



② 発熱やかぜ症状、嘔吐等がある方は  
必ず事前に電話でご相談ください。



※かかりつけ医をおもちでない方も、どうぞお気軽にご相談ください。  
※安心、安全な医療をお届けするために、今後も病院内での感染対策に努めて参ります。

# 令和5年度 職員紹介

第2弾

■副院長 平岡 裕  
ひらおか ひろし

副院長としての思いを教えてください

大切な仕事です。新院長の着任まで、院長の職務代理を懸命に努めます。

新型コロナウイルス感染症について

インフルエンザ以下の、普通の風邪になることを期待しています。コロナ前の生活に戻れば良いですね。

未来の日南病院に希望することを教えてください

生まれ変わった日南病院で、診察を受けたい、入院してみたい。新しい日南病院で医療に従事したいと切望されるような、そんな病院を目指します。

コロナが収束したら、したいことはありませんか？

新入職員の歓迎会、前職員の送別会を開催します。

ひと言お願いします

日南病院にとって何よりも大切な患者さんの思いを真摯に受け止め、病院の玄関をくぐったその瞬間に、心から安心が得られる、そんな病院になることをねがい、創りあげていきます。



■総務課 参事 木下 順久  
きのした よりひさ

担当業務はなんですか？

本年度から検討をはじめ日南病院の改築事業を進めるにあたって、主に病院内の計画推進と行政との調整役を担当します。

以前、日南病院に勤務されていた時と「違うな」と感じた事がありますか？

15年ぶりの病院勤務ですので違うことだらけですが、新たな気持ちで仕事に取り組みます。

「なんでも自慢」を教えてください

40年以上の行政マン経験の中で、町内の多くの皆さんと一緒に仕事をしてきたことです。

日南病院での目標や頑張りたいことは何ですか？

町民の皆さんから信頼され、なくてはならない病院であり続けられるよう、自分のできることを頑張ります。

ひと言お願いします！

口数は少ないタイプですが気軽に声がけくださると喜びます。どうぞよろしくお願いします。

【私の好きなこと】

音楽全般聴くのも、演るのも好きです。

ベースが得意だって知ってるで！



2023年4月1日～		月	火	水	木	金
内科	一診 (予約制)	中田	谷口	井川	谷口	井川
	二診 (予約制)	平原	高見	吉田	平原	高見
	三診 (予約なし)	吉田	中田	谷口	鳥大 (井川)	平原
	専門外来 (予約制)	井川 (ペースメーカーチェック)			高見 (禁煙外来) (物忘れ外来)	門脇 (糖尿病内科)
外科		(鳥大) 平岡	平岡	(鳥大) 平岡	平岡	平岡
整形外科 (予約優先)						(鳥大)
小児科		(鳥大)	第3火曜(PM)は小児循環器			
耳鼻咽喉科		(鳥大)			(鳥大)	
眼科 (予約優先)				(鳥大)		(鳥大)
皮膚科			池原			
内視鏡・エコー (予約制)			吉田	中田		

- 診療 9:00～12:00(開扉7:30、受付8:00～11:30)
- 整形外科、眼科は予約優先になっていますので、当日受診希望の方は、来院前に電話をお願いします。
- 発熱やかぜ症状、嘔吐等がある方は必ず事前に電話でご相談ください。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため病棟への面会は原則禁止ですが、オンライン面会などの方法がありますので、ご希望の方は病院看護師に電話でご相談ください。
- 令和5年4月より祝日等で休診となった月曜日の小児科診療の振替診療(火曜日)は鳥大小児科の都合により無くなりましたのでご注意ください。



病院に対するご意見ご要望、または広報誌に対するご意見など、お待ちしております。



⇒入力フォーム



日南病院LINE 公式アカウント



休診の連絡や予防接種などいち早く情報発信します。

担当医師

かどわき 門脇

佳名子

※糖尿病内科に関することは、外来看護師にご相談ください。

## 糖尿病とは

一般的には、「インスリンの働きが充分でなく、体のエネルギー源であるブドウ糖を有効に使えなくなり、血糖値が高くなっていく状態」と説明されます。糖尿病を持つ人は年々増えており、いまや世界で5億人を超えています。また、研究により、糖尿病は生活習慣という一言では片付けられない複雑な状態だということも分かってきました。

## なぜ治療しないといけないの？

血糖値が高い状態を放っておくと、体の血管を傷つけ、他の病気(合併症)を引き起こします。合併症は、心筋梗塞、脳梗塞、腎不全、視力障害、足壊疽など生活を脅かす病気が多いです。

## いつまで治療するの？

糖尿病はいちど発症すると完治することは難しく、上手に付き合っていくことが重要です。早くから血糖値と向き合い、付き合い方を工夫する

ことで、合併症に困らされず元気に寿命を全うされる方も増えておられます。

## どんな治療があるの？

食事と運動、すなわち生活そのものが治療になります。薬もうまく使いこなすことがポイントです。最近新しい治療法や血糖管理アイテムも増えてきました。しかし、増えた分だけ、今の自分に合った正しい方法を選ぶことの難易度も上がっています。健康に良いというロコミをひとつとっても、その人の状況によっては、かえって健康を害してしまうこともあるのです。

## 糖尿病内科で

していること

日南病院の糖尿病内科は毎週金曜日の午前外来診察を行っています。医師だけでなく看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師など様々な職種がそれぞれの専門



## 健康教室 (糖尿病教室)

開催のお知らせ

【会場】保健センター (研修室)

第1回 令和5年6月23日 (金)

【時間】13時30分～14時30分

「自分の血糖値を知っていますか?」  
「実際に血糖値を測ってみよう」

講師：糖尿病内科担当医師 門脇 佳名子

第2回 令和5年7月28日 (金)

【時間】13時30分～14時30分

「今日からできる!! 食事と運動」  
「何をどれだけ食べたい?」

講師：管理栄養士 礒江 祐治

講師：理学療法士 礒江 絵夢

講師：理学療法士 礒江 絵夢

当日は、低カロリーの甘味料のサンプルがありますよ。

第3回以降 日時調整中

第3回以降は順次お知らせします

※第1回から個別相談ができます。

ご希望の方はお申し出ください。

※タイトル、内容は変更する場合があります

# 研修医

## 岡嶋先生の研修レポート!

- 所属：大阪市立総合医療センター
- 氏名：2年目研修医 岡嶋恵生



今回、鳥取県日野郡日南町にある日南病院で、2022年10月17日から4週間研修をさせていただきました。人口密度や高齢者の割合が異なる大阪府外での研修は、大変学び多く、私にとってかけがえのない経験となりました。その中で感じたことを、ご報告します。

人口が少ないことから、夜間の明かりも少なく、夜には満天の星空を見上げることができましたし、研修医宿舎の近くでアナグマに遭遇する頻度も高く毎日が楽しかったです。



家の近くに住んでいるアナグマ

### 2. 病院研修の概要

日南病院では、外来研修、救急対応、入院患者に対する加療、訪問診療、訪問看護、多職種カンファレンスへの参加等、様々なことを経験することができました。特に訪問診療では、車に乗って山を越えて寝たきりの患者の自宅を訪問し診察を行ったり薬を処方したりと、今まで経験したことのない、退院して自宅にいる患者の様子を知る機会に恵まれました。残薬の量から服薬状況を予想したり、自宅の状況やご家族の介護状況等を直に確認したりすることで、今後の治療方針を具体的に検討することができ、院内だけでは知れない情報を集めることの大切さを知りました。

また、病院にいただけでは状況が不明瞭で診療が困難な、ADL (日常生活動作) が低下して病院受診できない患者を支えることができる訪問診療の大切さを実感しました。日南病院の院内に掲げられている言葉で印象的だったものがあります。それは「町は大きなホスピタル」という言葉です。町の道路は病院の廊下、各家庭は病院のベッ

ド、家庭の電話はナースコールである、という考えを表しているそうです。日南病院での研修を通じて、この言葉通りの役割を日南町が実践していると感じ、また、これは日南町だけでなく今後高齢化を迎える大阪などの都市圏でも実践されるべきものであることを学びました。その地域で暮らす人々の様子を把握し、どうすれば人々が安心して地域で生活し続けられるかを検討することから始め、その具体的なニーズに対して保健・医療・介護・福祉の関係者がサービスを提供し、最終的には行政を巻き込んで町全体で地域づくりを行っていく。日本の都市が高齢化するよりも30年も前に高齢化を迎えた日南町での地域医療の取り組みは、都市が高齢化する際に必要となる、都市における地域医療のモデルになると考えられます。私個人としてできることはまだまだ少ないかもしれませんが、今回日南病院で学んだことを念頭に置き、大阪でも地域医療を実践していきたいと思います。

### 1. 日南町の概要

日南町は鳥取県の南西の内陸部にある町で、日野郡に属しています。総人口は約4000人で、人口密度は11.6人/km<sup>2</sup>、2015年～2020年までの人口減少率は-12%であり、65歳以上の人口は約52%とされています。周囲を山々に囲まれた日南町では、美しい自然が織りなす絶景を満喫することができます。私が研修を行った10月から11月は、紅葉で山々が赤や黄色に染め上げられていく様子を見られる時期であり、その美しさに感動しました。



訪問診療へ向かう車窓からの風景



日南病院の内視鏡室



紅葉を眺めつつ訪問診療へ



日南病院の昼食



最後には見慣れたカメラ